



「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」

国内コーディネーター通信

*News Letter of Anatidae National
Coordinator-Japan*

東アジア・オーストラリア地域
フライウェイ・パートナーシップ
*The East Asian-Australasian
Flyway Partnership (EAAFP)*

No.192

2020 年
10 月号

ガンカモ類国内コーディネーター

神谷 要(公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団)

〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田 665

Tel 0859-24-6139 / Fax 0859-24-6140

E-mail: anet@sanmedia.or.jp

●世界渡り鳥の日 2020

World Migratory Bird Day



World Migratory Bird Day

渡り鳥の保護を訴える世界渡り鳥の日は、春と秋の二回あります。毎年5月と10月の第2土曜日となっており、今年は、2020年5月9日(土)と2020年10月10日(土)です。今年のテーマは、「Birds Connect Our World「鳥が私たちの世界をつなぐ」」です。渡り鳥の移動と、その生存に不可欠な生態系の保全の重要性を強調することを目的に選ばれました。WMBD 2020 についてページが作成されています。各サイトでイベントをぜひ登録ください。

<https://www.worldmigratorybirdday.org/>

●「レッグフラッグ・チャレンジコンテスト」実施中

世界渡り鳥の日の企画として東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ国際事務局のホームページでは、「フラッグチャレンジ・フォトコンテスト」を実施しています。

今年撮影されたフラッグもしくは、カラーマーキングされた首輪・足環を装着された鳥の写真を2020年11月15日までに送ってください。



詳しくは、

https://www.eaaflyway.net/legflagchallenge_photo_contest_2020/

まで

●西太平洋フライウェイにおけるコハクチョウへのカラーマーキングについて

ロシア科学アカデミー (Diana Solovyeva) と中国科学院生態環境科学研究センター (Cao Lei 教授) のグループは成鳥と幼鳥の白鳥の生存率を推定するために2016年から2020年にかけてチャウン湾(ロシア)で234羽のコハクチョウに標識をつけています。2019年までに標識した181羽のうち81羽が日本で確認されました。今後首輪が外れていく可能性もありますが、寿命を調べる調査ですので足環などに注視して観察するよう、お願いい

たします。

		首輪	足環
幼鳥	23羽	白いGPS発信機	赤い足環の装着
幼鳥	36羽	なし	赤い足環の装着
成鳥	118羽	白いGPS発信機	赤い足環の装着
成鳥	26羽	赤の首輪	赤い足環の装着
成鳥	23羽	なし	赤い足環の装着

※神谷が制作。8羽については処置不明

<https://www.eaaflyway.net/tundra-swan-re-sighting/>



©DianaSolovyeva

標識のついた鳥を観察した場合は、必ず山階鳥類研究にもご連絡ください。日本の標識センター(情報の共有と保存をする組織)となっています。

宛 先： 山階鳥類研究所 保全研究室
鳥類標識センター

住 所： 〒270-1145 千葉県我孫子市高野山 115

電 話： 04-7182-110 FAX： 04-7182-4342

E-mail： BMRC@yamashina.or.jp

●米子水鳥公園開園 25 周年

米子水鳥公園では、2020 年 10 月 24 日に開園 25 周年を記念し記念式典や探鳥会を実施します。PR のためのイラストの制作を米子市出身の若手アーティストに依頼し、ポロシャツや記念のエコバックなどを制作しました。



作品名：「中海」

作画：マツダケン

米子水鳥公園から見える大山(ダイセン)を背景にコハクチョウとウラギクの花が描かれています。

☆お願い

このニュースレターは、環境省令和元年度 EAAFP 事業推進業務の下、発行されています。皆様の情報・資料・イベントチラシなど 50 部を国内コーディネーター(米子水鳥公園:神谷)へまとめてお送りいただければ、この通信に同封して各地に配布いたします。

添付資料	
水鳥公園だより 第 274 号 平成 31 年度(令和元年度)米子水鳥公園年報 米子水鳥公園 25 周年カレンダー 中海・宍道湖登録 15 周年イベント	各 1 部
福島潟だより(2020 年秋号)	1 部

2020/10/11
No.191

「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信

2/2